

令和7年度 第2回 社会教育委員会 会議録

日 時 令和8年2月20日（金）

午後1時15分から午後3時05分

場 所 豊明市立図書館2階 会議室

出席者 橋本委員、緒方委員、堀川委員、青木委員、奥村委員、笹生委員

欠席者 笠原委員

事務局 教育部長、生涯学習課長、図書館長、生涯学習担当係長、文化・スポーツ担当係長、担当者

傍聴人 なし

1 委員長あいさつ

2 教育部長あいさつ

3 議題

(1) 令和7年度基本方針（案）及び事業計画（案）について

生涯学習事業については生涯学習担当係長が説明。

文化・スポーツ事業については文化・スポーツ担当係長が説明。

図書館事業については図書館長が説明。

質疑応答

委員

説明のあった公民館講座では、今年の大河ドラマを題材とした講座や夜間講座など面白い取り組みをされており精力的にやっていると感じます。また、文化会館の指定管理者も豊富な人脈を生かして有名で実力のある人を呼んでイベントを開いてもらっています。是非、これからも続けてください。

事務局

ありがとうございます。

委員

生涯学習の基本方針（案）について、重点目標の2が社会参画の促進として「学ぶことをきっかけに、人とのつながりや支え合いの心を育て、地域やコミュニティへの参加が自然に広がるようにする。」とあります。この文言で参加ですと仲間になることだったり、仕事に加わることを意味するわけですが、これを参加・参画に変えて、すでにあるものに参加をするだけでなく自分たちで計画段階から参画し良いものを作っていくというイメージにした方がよいのではないかと感じました。

事務局

そのように修正いたします。

委員

中学校部活動地域移行について、講師となる人の具体的な目途はたっているのでしょうか。

事務局

本年度に当該事業の委託先を決めるプレゼンテーション審査を行います。その結果次第にはなりますが基本的には事業者が抱えている指導者を派遣いただいたり、現在モデル事業を担っていただいているソフトテニスや柔道の指導者様、スポーツ協会等関係団体の中で引き続き指導をすることを望んでいる方々は積極的に採用いただけるよう促していきたいと考えています。

委員

もう教員はこの事業に関わることはなくなっていくのでしょうか。

事務局

先生方においても、指導を望む場合には参加ができる仕組みを作りたいとは考えていますが、学校の本業で時間外勤務が増えているなどの事情があると参加するのは難しくなる可能性は高くなってしまいます。

委員

現在、地域移行完了した部活と今後地域移行する予定の部活はなんのでしょうか。

事務局

現在は、ソフトテニス部・柔道部・豊明中学校のバスケットボールの3つです。そして今年の9月以降は土日に活動をしているすべての運動部と、吹奏楽部が移行対象となります。

委員

大会への送迎はどうなるのでしょうか。

事務局

現時点ではまだなんとも言えませんが、例えば県大会に出場するために移動するとなった場合にはその手立ての予算確保の可能性はあるかと思えます。しかし市外の練習場への移動などとなると、各々のご負担となる可能性はゼロではないかと思えます。

委員

指導者に関しては技量や指導力があればよいだけではなく、子どもに対して不適切な行動をとらないよう適切な選別をお願いしたい。

事務局

そこは適切に配慮をしてやっていきたいと思っています。民間移行をしたため指導等の質が落ちてしまったと言われないようにやっていきます。

委員

地域移行すると出場可能な試合は変わるのでしょうか。

事務局

情報を確認していますと出られる大会、出られない大会があるという認識ではあります。県によっても差異がございますので今後、こういった動きになるかはまだ読めないところがあります。

委員

平日と休日で指導者が変わって子どもが混乱しないか心配なのですが、そこはどのように考えていますか。

事務局

仕様の中に、中学校にそれぞれ1名ずつ統括責任者というものを置くようにしておきまして、顧問の先生と指導の状況であったり、いまのクラブ内の雰囲気などを必ず共有して人によって大きく指導方法が変化しないよう努めたいと考えています。

委員

豊明市をアピールするために、桶狭間だけでなく様々な史跡などを巡るイベントを春と秋にやってもらいたい。

事務局

歴史民俗調査研究会の皆様により、秋に前後駅から市内の史跡を巡るウォークラリーイベントを実施しました。また、スポーツ推進委員の皆様により古地図、ものすごく古い地図を見ながらその道をとおり昔と今を比べるイベントも実施しました。いずれも大変好評だったため、来年度も実施できればと思っています。

委員

公民館講座の内容ですが、マナーをテーマとしていただいた誠にありがとうございます。民間主催ですと、なにか契約をさせられたりしないかなど不安になったりもしますが、行政が主催いただけるとそういう懸念もなく多くの方に参加いただけると思います。

委員

いま中高生の活字離れが進んでいるようです。図書館としてなにかこの世代にアプローチしたりしていますか。

事務局

委員がおっしゃられるように中高生世代が一番本を取らない世代です。図書館としてもヤングアダルトコーナーを充実させたりしてみました。本来のターゲット層ではない世代の貸し出しが増える結果となりました。図書館協議会では、学習室の近くにそのシーズンに有用な本を置いてはどうだろうという意見がありましたので一度そちらを試してみたいと考えています。

委員

一つの提案として、図書館だけではアイディアの限界もあると思うので学校にある図書室の司書の方からも意見を頂戴できる機会を作ってはいかがでしょうか。

事務局

令和8年度からはその形の会議を開催しようと予定しています。図書館と学校双方で協力体制を築けるようにしていきたいです。

委員

図書館利用者が楽に借りた本を返せるように、移動式図書館をやると利用者が増えるかと思いました。

委員

図書館の利用者は増えているのでしょうか。

事務局

コロナで減少した分が元に戻ってきているという状態です

委員

提案ですが、コインロッカーひとつくらいサイズが一区切りの木枠のようなものを用意して、市民に無料で貸し出してそこに自分の思い出の本を置いてもらいその空間を自由にレイアウトしてもらおうということをやったらいかがでしょうか。もちろんそれを別の方が自由に手に取れるようにすれば、そういったことに興味がある方や本を置いた方のご家族などですこしかもしれません。足を運ぶ方が増えるかもしれません。

事務局

ありがとうございます。今おっしゃられたことと似たものとして、応募者を募って自分の1冊という名目で思い出の本を今月の本棚に置かせていただく事業を数年続けていましたが、応募者が年々減ってきてきて現在は事業の形を変えています。しかし木枠のようなボックスを用意するというのは新しい視点だと思いますので図書館職員間で一度検討をしたいと思います。

(2)第3次とよあけ生涯学習アクションプラン検証結果と今後の指針について事務局から説明

質疑応答

委員

今後の生涯学習課が行っていくこと「豊明市生涯学習指針」という指針としてまとめたことはとてもよいことだと思います。「計画」となるとどうしても達成目標の数値にとらわれて、本当に必要なものが見落とされる可能性もあります。他課でもこのように「指針」として方向性をまとめているところがあるのでこの内容で良いと思います。

審議の結果、とよあけ生涯学習アクションプランは、豊明市生涯学習指針として今後運用していくことに決定した。

4 その他

図書館から委員へ、図書館参考資料室にて桶狭間の合戦のジオラマ展示を行っていることを連絡